

3. 今後の看護職員配置計画

(1) 以下の増減要因を勘案して、平成27年の需要人員数を見込んで、以下の表に人数を記入してください。

現状の看護職員数については、上記質問2(1)．就業形態別の看護職員数と一致します。

今後の配置計画が未確定の場合は0と記入してください。

増減要因が重複する場合には、主要な増減要因の箇所に記入してください。

※全ての要因について、現状を踏まえ、改善可能と判断される場合の需要増加人員数を記入してください。

増 減 要 因				平成27年までの 増加人員数(人)
①病床数の増減等				
要因	時期	病床種別	病床数	
増床				
減床				
②病棟・外来部門の充実・見直し				
(再掲) 院内助産所・助産師外来における助産師の配置				
(再掲) 専門・認定看護師の配置				
③病院管理・看護管理部門の充実・見直し				
④訪問看護部門の充実・見直し				
⑤研修体制の充実・見直し				
⑥勤務環境の改善				
⑦その他				
合 計				

(例) 施設基準の充実(13:1→10:1等)、特殊診療部門(ICU,CCU等の取り扱い等)、医療ニーズの高い外来患者や日帰り手術の増加、労働時間の見直し、夜勤体制の見直し等

(例) 労務管理・研修企画などのマネジメント機能の強化、リスクマネージャーの配置、地域医療連携を図るための退院調整担当者の配置、労働時間の見直し、夜勤体制の見直し等

(例) 在宅療養の増加、在宅ケアの推進等

(例) 新人看護職員研修、医療安全研修等

(例) 年次有給休暇取得日数の増、育児休業及び介護休業取得者数及び取得日数の増
※ 次の計算式を参考に貴施設の計算方法に基づき計算してください。

(休業についての参考計算式)

$$\{(\text{平成27年の取得者数} \times \text{平成27年の1人当たり平均取得日数}) / \text{平成27年の1人当たりの年間労働日数}\}$$

$$- \{(\text{平成20年度の取得者数} \times \text{平成20年度の1人当たり平均取得日数}) / \text{平成20年度の1人当たりの年間労働日数}\}$$